

# 福岡で国際交流開催

## 生き残りで大変な時代



2018年2月に「OUEEN塾 in 福岡」国際交流イベントを開催した。参加者は福岡に学ぶ大学生と留学生、および首都圏大学の九州出身者の1、2年生で合計100人。九州電力や西日本シティ銀行など20社の協賛企業を見学し、業の実情をインタビュ―した。千里氏(元九州大学総長)を紹介した。2回目は19年2月19日から15日まで開催する予定だ。協賛企業は倍の40社、初回的时候は福岡市の企業が中心だったが、北九州市にも後援を頂き約半分まで協賛企業を集めていく方向である。

2018年2月に「OUEEN塾 in 福岡」国際交流イベントを開催した。参加者は福岡に学ぶ大学生と留学生、および首都圏大学の九州出身者の1、2年生で合計100人。九州電力や西日本シティ銀行など20社の協賛企業を見学し、業の実情をインタビュ―した。千里氏(元九州大学総長)を紹介した。2回目は19年2月19日から15日まで開催する予定だ。協賛企業は倍の40社、初回的时候は福岡市の企業が中心だったが、北九州市にも後援を頂き約半分まで協賛企業を集めていく方向である。

小林氏は東京大学の応援部出身。先輩の篠沢恭助氏(元大蔵省事務次官)から福岡女子大学理事長の梶山千里氏(元九州大学総長)を紹介した。2回目は19年2月19日から15日まで開催する予定だ。協賛企業は倍の40社、初回的时候は福岡市の企業が中心だったが、北九州市にも後援を頂き約半分まで協賛企業を集めていく方向である。

OUEEN塾 理事長 小林 博重氏(65)

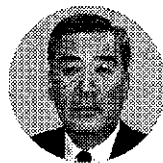


また、「OUEEN塾 in 石川・金沢」を19年9月ごろに立ち上げる予定。金融機関への注文は「ダブル期は高給取りのイメージがあったが、今は日銀のマイナス金利政策により預貸金利の利ざやが縮小。生き残りで大変だ」と感想を述べる。取引金融機関は福岡銀と西日本シティ銀など。(福岡) (文)西山 一男、写真(熊谷 麻世)

### 店舗再編成でチャネル拡充

#### 第二地銀

◆7月23日に東日本大震災からの7年間、2カ店を統廃合する。一方、関るなど店舗の再編、移動店舗車やインターネット道成を進める。仙台北取引などチャネルの拡充を進める。鈴木隆頭取は「来店客数が減少していく。地域でも金融サービスの質を新か今後も店舗の統廃合は検討維持できるか模索していかなくてはならない」と。(仙台北)



鈴木 頭取

#### 中小企業、地道に開拓

◆長崎銀の餅田浩治取締役は「長崎市役所の建て替えや新幹線の開通、スタジアム

### 100周年につながる新計画へ

#### 信金

◆2018年、く変わっている。次期計画をさ度が現中期経営計策定するうえで大切なのは前画の最終年度にな提となるし、かつとした環境たる但馬信金。森垣分析と方向性。人口減少やマ裕孝理事長は「現イナス金利の長期化、AIのな中計を策定したときには日銀進展だ。24年には100周年のマイナス金利などの想定は迎えるが、それにつながるななかった。今、経営環境が大きく新計画にしたい」と。(大阪)や



森垣 理事長

#### 事業承継で意識改革

◆桐生市、桐生商工会議所と共同で地元企業の事業承継の調査結果を取りまとめた